



学校だより 神橋

しょうがっこう
小学校

令和5年8月28日

よこはましりつ かみはし
横浜 市立 神橋



学校ホームページ

8・9月号

「スピーチコンテスト」

こうちょう はんじ たまみ
校長 判治 珠美

なが なつやす あげ、こどもたちのにぎやかなこえががっこうもどに戻ってきました。

すでにホームページでもお伝えしていますが、夏休み中の7月25日に「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」が南公会堂で行われ、本校6年生児童、村田朱衣さんが区の代表として出場しました。自然環境を守るために自分について考え、実践し、さらにそれを広げるためのスピーチは大変すばらしく、「優秀賞」をいただきました。

その他のスピーチで私が心に残ったのは、ある男の子のスピーチでした。マイクに向かって発したその子の第一声は、びっくりするくらいのガラガラ声でした。

彼は大変小さく生まれ、何度も手術を繰り返しながら成長するものの手術のためだということでした。その声や手術の痛みのために、いじめられたり、嫌な思いや、悲しい思いをしたりしたことも多かったそうです。でも今は、彼を理解する友達に囲まれ、楽しく学校生活を送っているとのことでした。

私たちは、自分と違う、みんなと違うことに対し、排他的になったり、攻撃的になったりしがちです。子どもの世界ではそれがよりストレートに出て、相手を傷つけることもあります。でもコミュニケーションを通して、相手を知ること、先入観や思い込み、誤解などに気づいたり、納得したりして、その人の個性やその人らしさとして認めたり、理解したりすることができるようになるのだと思います。彼と周りのいろいろな友達との間でもきっとそのような過程があったのだと思います。

彼のスピーチのタイトルは「自分らしさを大切に」で、今回「教育長賞」を受賞しました。応援に来ていた多くの友達が彼の受賞を喜び、会の終了後、彼を囲んでみんなで写真を撮っていた様子に、心がじーんとしました。



なつやす ^あ夏休み明け、また ^こ子どもたちが ^{たの}楽しく ^{がっこうせいかつ}学校生活を送ることができるように ^{つと}努めていきます。